

令和 8 年 9 月 定例会

質問（質疑）要旨

一般質問（一括質問・一括答弁）

（ 1 日 目 ）

9 月 11 日(金) 午前 10 時

（ 2 日 目 ）

9 月 14 日(月) 午前 10 時

（ 3 日 目 ）

9 月 15 日(火) 午前 10 時

高 岡 市 議 会

◎ 第 1 日 目 （ 9 月 11 日 ）

- 1 山野井拓也（新 ・ 高 岡 愛） …… 1
- 2 梅島 清香（同 志 会） …… 3
- 3 高木 敬介（新 ・ 高 岡 愛） …… 5
- 4 山上 尊士（公 明 党） …… 7
- 5 熊木 義城（新 ・ 高 岡 愛） …… 8
- 6 上田 武（立憲民主・社民議員団） ……10

◎ 第 2 日 目 （ 9 月 14 日 ）

- 7 田中 勝文（同 志 会） ……12
- 8 塚本 政彦（新 ・ 高 岡 愛） ……14
- 9 新開 広恵（公 明 党） ……16
- 10 水越 進一（自 民 党 無 派 閥 会） ……18
- 11 酒井 善広（同 志 会） ……20
- 12 林 貴文（新 ・ 高 岡 愛） ……21

◎ 第 3 日 目 （ 9 月 15 日 ）

- 13 植野 佳奈（新 ・ 高 岡 愛） ……23
- 14 八田 一弥（高 岡 忍 者 会） ……24
- 15 本田 利麻（同 志 会） ……25
- 16 石須 大雄（立憲民主・社民議員団） ……27
- 17 中川加津代（Kirari-き ら り -） ……28

議席番号	氏 名	所 属
3	山野井拓也	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 災害対策について (1) 実際の災害から見えた課題を踏まえ、市民の命を守るためどのように取り組んでいくのか。 (2) 小中学校体育館への空調設備導入について ① 避難所の環境を整備する意味でも前倒しするべきでは。 ② ガスを燃料とする方式で空調設備を導入するが、ガスの供給途絶時への対応は。 (3) 小中学校体育館に開設される避難所について停電時の環境維持をどのように行うのか。 (4) 市内各地で発生する内水氾濫をどのように把握し、今後対応していくのか。 2 民泊について ・ 市民生活に係る相談の中で、民泊に関する問い合わせはあるのか。 3 外国籍市民との共生について (1) 暮らしに関する行政情報や、災害時の緊急情報などについて、本市ではどのような手段を用いて外国籍市民に発信しているのか。 (2) 外国籍市民の転入手続き時に、日本での生活に関する基礎的な知識や行政情報について多言語等を用いて、伝える工夫をしてはどうか。 (3) 本市では、外国籍市民が自治会活動等の地域社会に参画できるよう、どのような取り組みを行っているのか。 4 自転車保険加入義務化について (1) 市民や業務で自転車を利用する市内事業者に対し、どのように啓発活動を行うのか。	

通 告 事 項	備 考
(2) 県自転車活用推進条例では学校の長に児童生徒及び保護者に対する情報提供の努力義務が課せられるが、本市の学校ではどのように児童生徒と保護者に周知していくのか。	

通告順位 2

議席番号	氏 名	所 属
11	梅島 清香	同志会

通 告 事 項	備 考
1 高岡の地域の強みを活かした産業振興と働く環境づくりについて (1) 本市として今後どのような企業や産業の集積を目指していくのか。 (2) 伝統産業やものづくり産業など、本市が有する地域産業をより発展させることが、「高岡」の魅力向上につながると考えるが、見解は。 (3) 農林水産物等輸出促進事業により本市の農林水産物や食品の販路拡大を支援しているが、継続的な海外展開につなげるため、支援の拡充に取り組むべきと考えるが、見解は。 (4) 「高岡市女性の働く環境改善促進事業支援補助金」について、これまでの活用状況と成果をどのように評価しているのか。また、女性の雇用や定着、活躍につなげるため、今後の制度の継続や発展をどのように考えているのか。 2 持続可能な地域公共交通について (1) 市内各地域で地域交通の実装や実証実験が進む中、これまでの取組をどのように評価しているのか。また、今後、本市全体としてどのような地域公共交通体系を構築していくのか。 (2) 交通空白の解消に向け、新たな地域交通を導入する際、既存の路線バスやタクシーなどの交通事業者との役割分担や共存をどのように考えているのか。 (3) 地域住民、交通事業者、行政がそれぞれの役割を担いながら、持続可能な地域交通をつくるため、今後どのような協働体制を構築していくのか。 3 持続可能な財政運営と事業の継続性について (1) 「ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業」は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施しているが、臨時的な財源が終了した後の事業継続について、どのように考えているのか。	

通 告 事 項	備 考
(2) 国・県の交付金等を活用して新たな事業を開始する際、その後に一般財源による負担が生じる可能性も踏まえ、事業の継続性や将来的な財政負担を考慮する必要があると考えるが、どのような基準のもと財政運営をしているのか。 (3) 新たに始めた市民サービスを継続していくためには、既存事業の見直しや事業の選択と集中を進める必要があると考えるが、限られた財源をどのように配分していくのか。 4 学校体育館への空調設備の整備について (1) 進捗と今後の予定は。 (2) 空調の設置スケジュールについて、P T A・学校と丁寧な情報共有を図っては。 5 若い世代が地域に関わるまちづくりについて (1) 高岡市若者地域活動支援補助金の活用状況と成果をどのように評価しているのか。 (2) 地域活動の担い手不足が進む中、若い世代が継続して地域活動に関わりを持てるようにし、次世代を担う人材の育成につなげるため、今後どのような取組を進めていくのか。 (3) 地域住民が地域活動に参画するきっかけづくりとして、活動への参画に応じた特典を付与するなどの取組を検討しては。 6 旧ダイエー跡地に関するこれまでの地元や議会からの問題提起について、市としてどのように認識しているのか。また、今後の土地の利活用についてどのような展望を持っているのか。	

議席番号	氏 名	所 属
4	高木 敬介	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 地域産業の持続的な発展について (1) 物価や人件費の上昇に加え、金利の上昇など、中小企業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、本市の制度融資の利用状況と資金使途の変化をどのように捉えているのか。 (2) 中東情勢特別対策枠融資保証料補助金の利用実績と市内中小企業の資金需要を踏まえた、取組の成果と今後の対応は。 (3) 市内中小企業による高効率空調設備の設置・更新について、猛暑への対応や従業員の労働環境改善に加え、省エネルギーや電気料金等の経営コスト削減、脱炭素化を進める観点から、支援を推進する必要があると考えるが、見解は。 (4) 戦略的な企業誘致を進めていくため、今年度企業誘致戦略アドバイザーを起用しているが、その取組の進捗状況は。 (5) 本市への滞在時間の延長や飲食、買物等の消費につなげるため、体験型観光を充実させる必要があると考えるが、現状と今後の取組は。 2 持続可能な地域医療体制について (1) 家持あんしんネットの現在の利用状況と医療機関間の情報共有等による具体的な効果をどのように評価しているのか。また、持続可能な地域医療体制の構築に向け、今後どのように取組を進めていくのか。 (2) 高岡市急患医療センターについて ① 高岡・射水・氷見3市が連携し、耳鼻咽喉科の診療体制を確保することとなったが、今後、高岡医療圏3市の連携をどのように進めていくのか、本市の想いは。 ② 高岡医療圏3市の費用負担の在り方について、患者の利用実態や関係市の受益等を踏まえ、持続可能な費用負担の考え方を整理していく必要があると考えるが、見解は。 3 高岡古城公園の安全・安心について	

通 告 事 項	備 考
(1) 市民や観光客が高岡古城公園を安心して利用できる環境を確保するとともに、照明・巡回・防犯カメラ・施設管理など、エリア全体の視点から犯罪の抑止力を高める必要があると考えるが、安全・安心に関するニーズをどのように把握し、今後の環境整備に反映していくのか。 (2) 災害や事件・事故等の緊急時に、園内にいる市民や観光客へ迅速かつ確実に情報を伝達できるよう、園内放送設備の更新・機能強化を進めるべきではないかと考えるが、現状と課題は。	

議席番号	氏 名	所 属
7	山上 尊士	公明党

通 告 事 項	備 考
1 災害時における応援職員の受け入れ体制について (1) 本市では、応援職員の受け入れに関する受援計画を策定しているが、どのような業務が対象となっているのか。 (2) 本計画に基づき、災害時に必要となる職員数と不足となる職員数は事前に算定しているのか。 (3) 人的支援を要請する判断基準は。また、県や協定自治体への要請ルートはどのようになっているのか。 (4) 応援職員の執務場所や宿泊場所等の受け入れ体制はどのようになっているのか。 (5) さらなる受援体制の強化へ向けてどのように取り組んでいくのか。 2 子どもを育てやすい環境の構築へ向けて (1) 地域子育て広場事業について ① 事業の実施状況は。 ② 利用者側、主催者側からはどのような声が寄せられているのか。 ③ 事業の更なる拡大へ向けて、どのように取り組んでいくのか。 (2) オタヤ子ども広場について ① 令和5年度から令和7年度までの利用状況の推移は。 ② こどもうんどう広場の設置による利用状況の変化は。 ③ 今後整備予定の環境啓発拠点において子育て支援の機能が必要だと考えるが、見解は。 (3) 子どもを育てやすい環境の充実へ向けてどのように取り組んでいくのか。	

議席番号	氏 名	所 属
9	熊木 義城	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 障がい者福祉について (1) 次期高岡市障害者基本計画の策定に向けたアンケートや実態調査の進捗は。また、そこで把握した当事者や関係者の声を、今後どのように反映していくのか。 (2) 強度行動障がい者の支援について ① 本市が把握している強度行動障がいの方の実人数と、受け入れ可能な事業所など支援体制の現状は。 ② 現在の支援体制をどのように評価し、今後、支援ニーズに応じた受け入れ体制をどのように整備していくのか。 (3) 障がい者・障がい児の家族から寄せられる相談や負担の実態を、本市はどのように把握しているのか。また、家族の負担・不安を軽減できるよう、市として支えていくべきと考えるが、見解は。 2 部活動の地域展開について (1) 休日部活動の地域展開に向けた受け皿づくりの現状は。また、競技・活動ごとに異なる課題をどのように把握し、今後の地域展開を進めていくのか。 (2) 地域展開により新たな保護者負担や、競技・活動によって受け皿の整備状況の格差が懸念されるが、家庭の経済状況や種目の違いにかかわらず、子どもたちの活動機会を確保していくべきでは。 (3) 地域展開を持続可能なものとするため、国・県に対し財政支援の拡充を求めていくべきと考えるが、現在の要望状況と今後の考えは。 3 総合計画第5次基本計画策定に向けた市民アンケートについて (1) 30代の愛着が全世代で最低、20代の継続居住意向が全世代で最低という結果が示されたが、若者の定着を第5次基本計画でどのように位置づけていくのか。	

通 告 事 項	備 考
(2) 「こどもたち」「強い経済基盤」「魅力的な仕事」という３領域の満足度が低く重要度が高い分野として明確に示されたが、この結果の受け止めは。また、第５次基本計画にどのように反映するのか。 (3) 市として評価できる点は。また、第５次基本計画において、市の強みをどのように伸ばしていくのか。 ４ 子育て支援について ・ 高岡市ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業について ① 現在の利用状況と事業の評価は。また、利用者から寄せられている意見や要望をどのように把握しているのか。 ② 利用者の声を踏まえ、券面額や対象品目などについて、より利用しやすく柔軟な制度へ改善してはと考えるが、見解は。 ③ 今後も子育て支援施策として継続すべきと考えるが、見解は。	

議席番号	氏 名	所 属
20	上田 武	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
1 旧ダイエー跡地取得について (1) 土地開発公社が旧ダイエー跡地を取得した件について、令和8年8月7日に住民監査請求がされ、8月26日受理されたが、本市の受け止めは。 (2) 不動産鑑定評価額について、行政としてこれまでどのように取り扱ってきたのか。 (3) 取得価格が評価額を上回った理由と根拠は。 (4) 旧ダイエー跡地に関する鑑定評価書について ① 令和7年2月26日付けとなっているが、土地開発公社の理事会で報告しなかった理由は。 ② 当時、市当局として共有していたのか。 (5) 現在も用途や活用の見通しが示されていないが、今後の活用についての考えや計画は。 (6) 活断層の可能性について、売買契約時の重要事項説明書にも明記されているが、本市としていつ把握し、どのように受け止めたのか。また、活断層の可能性がある中で取得した理由は。 (7) 将来の活用方針が定まらないまま評価額を上回った価格で取得したことは、合理性を欠き、本市の財政運営に不当な負担を与えると考えるが、見解は。 2 パーキンソン病について (1) 早期の診断や治療が重要とのことだが、あらゆる広報を使い受診を呼びかけては。 (2) パーキンソン病のリハビリ専門施設の設置を県に要望しては。 (3) 患者への負担を増やさずに、パーキンソン病治療薬の安定的な供給ができるよう、県や全国市長会などと連携し、国に要望しては。	

通 告 事 項	備 考
3 高額療養費制度の見直しについて (1) 高齢者や年金生活者が、経済的な理由で受診や治療を諦めるケースが増えるのではとの意見があるが、どのように受け止めているのか。 (2) 全国市長会をはじめ関係機関と連携し、撤回を求めていると思うが、見解は。	

議席番号	氏 名	所 属
12	田中 勝文	同志会

通 告 事 項	備 考
1 災害対策について (1) 8月の大雨時における市内道路冠水について、発生箇所や被害状況をどの程度把握し、どのような対応を行ったのか。 (2) 1時間に40ミリを超える降雨で道路冠水が生じる現在の雨水排水能力をどのように評価しているのか。 (3) 水田の宅地化など土地利用の変化による雨水流出量の増加をどのように捉え、今後の浸水対策にどのように反映していくのか。 (4) 浸水対策のため、雨水の地下貯留施設を整備すべきと考えるが、見解は。 2 学生とのつながりを生かしたまちづくりについて (1) 学生と連携した様々な取組を通じて、本市は将来的にどのようなまちの姿を目指していくのか。 (2) 学生とのつながりを、卒業後の継続的な関係や就職、移住・定住にどのようにつなげていくのか。 3 将来を見据えた本市産業の発展について (1) 「住みたいまち 高岡」の実現に向け、本市は今後、企業に対してどのような支援を行っていくのか。 (2) 本市の企業の生産性向上のため、DXやAXなど新しい技術の導入に対して、どのように支援していくのか。 (3) 脱炭素先行地域としての取組、伏木富山港の循環経済拠点港湾の選定や県の地域産業クラスター計画等を踏まえ、サーキュラーエコノミーの取組をどのように進めていくのか。 4 旧南部鑄造所キュポラ・煙突の保存・活用について (1) 本市の産業発展を伝える貴重な産業遺産として、炉本体に加え煙道や煉瓦煙突まで残る旧南部鑄造所のキュポラ・煙突の価値と保存の必要性をどのように認識しているのか。	

通 告 事 項	備 考
(2) 北海道各地に残る高岡産のニシン釜など高岡鋳物が全国に広まった歴史を踏まえ、高岡鋳物の近代化を伝えるキューポラ・煙突を将来にわたりどのように保存・継承していくのか。 (3) 多くの市民や観光客に訪れてもらえるような仕掛けづくりが必要では。	

議席番号	氏 名	所 属
6	塚本 政彦	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
・ 未来世代の教育改革について (1) 高岡市教育大綱と教育改革について ① 2年延長により策定から7年目を迎えているが、これまでの成果と課題は。 ② 今後、どのような教育改革を目指すのか。 (2) ICT教育と学力向上について ① 現行の高岡市教育大綱と同時期に導入された1人1台端末とICT教育の推進について、これまでの成果と課題は。 ② メディアの利用時間と読書時間の関係や、スマホ脳疲労による学力低下が指摘されているが、学校図書館の学習まんがを充実させ、探究学習の場として学校図書館を活用しては。 ③ ネット依存やSNS等によるネットトラブルから児童生徒を守るため、義務教育の中でも一定のルール作りが必要と考えるが、見解は。 (3) 小中学校で導入される探究的な学びについて ① 推進モデル校における実践研究の内容は。 ② 各教科の学びの中で、どのように問いを深めていくのか。 ③ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」に、探究的な学びの視点を取り入れては。 (4) 特別支援教育とインクルーシブ教育について ① 特別な支援が必要な児童生徒への教育の現状は。 ② 児童生徒の発達に応じて、共に学び合うインクルーシブ教育を進めては。 (5) 語学教育と多文化共生教育について	

通 告 事 項	備 考
① 令和 10 年度までに全小学校と義務教育学校に A L T を配置することとしているが、これからの英語教育のあり方は。 ② 本市の外国人児童生徒数は。また、学校生活への適応状況と課題は。 ③ 日本人と外国人児童生徒のコミュニケーションや相互理解を促す多文化共生教育を進めては。 (6) ふるさと教育と地域活動について ① 高岡市ものづくり・デザイン人材育成特区の認定を受けて 20 年になるが、これまでの取組の成果は。 ② 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用して、地域に根差した学校づくりを進めては。 ③ 高岡開町の日を「ふるさと教育の日」と位置づけ、本市の歴史に対する理解を深める教育機会としては。	

議席番号	氏 名	所 属
8	新開 広恵	公明党

通 告 事 項	備 考
1 子どもたちの学びを守るための持続可能な教育環境の整備について (1) 教員が教育活動に集中できる環境を整えるため、事務的作業など教員をサポートする職員をさらに配置しては。 (2) 若手教員が管理職などへ気軽に相談できる環境や、休職した教員が職場復帰しやすい環境づくりが必要と考えるが、見解は。 (3) ハードクレームやいじめ対応など困難事案における対応について ① 学校や教育委員会など組織的な対応について、現状は。 ② スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど専門職を活用しては。 (4) 高岡市教育総合支援センターが開設され5か月が経過したが、運営面での課題と対応は。 (5) 学校施設のトイレ洋式化、バリアフリー化やI C T機器について、現場から寄せられる要望を踏まえどのような優先順位で整備・更新を進めていくのか。 2 持続可能な地域公共交通について (1) 「交通空白の解消は持続可能な地域社会をつくるための成長投資」と考えるが、見解は。 (2) 「交通空白」の解消に向け、計画的に交通政策を推進しては。 (3) 地域交通の利便性向上のため「地域公共交通コーディネーター」のような役割が必要と考えるが、見解は。 (4) 自動運転の社会実装に向けた取組状況は。 3 高岡おとぎの森公園の開園 30 周年について (1) おとぎの森公園は開園から 30 年が経過したが、これまでの利用者数の推移は。また、これまで果たしてきた役割や成果をどのように評価しているのか。	

通 告 事 項	備 考
(2) 魅力向上計画について、取組状況と今後の課題は。 (3) 開園 30 周年を迎えた今、次の 30 年、更にその先を見据えて「おとぎの森公園」の将来像とその実現に向けた思いは。	

議席番号	氏 名	所 属
2	水越 進一	自民党無派閥会

通 告 事 項	備 考
1 外遊びについて (1) 公立の保育園・認定こども園での外遊びの現状と機会確保に向けた取組は。 (2) 今後も続く酷暑と職員の負担軽減を見据え、公立の保育園・認定こども園への大型サンシェード等の日よけ設備の設置を検討しては。 (3) 学校の校庭や屋外プールにおいても日よけ設備の設置を検討しては。 2 教育について (1) 次期高岡市教育大綱策定の進捗と今後のスケジュールは。 (2) 次期学習指導要領の基本的な方向性が示されたが、それに対する本市の取組は。 (3) 国が教育課程の柔軟化を試行するサキドリ研究校に名乗りをあげては。 3 冠水対策について (1) 本市の内水対策のハード整備について、時間的雨量の対応目標と現状の取組は。 (2) 冠水リスクが高い地域に対し、雨水ますの蓋をグレーチングに更新しては。 (3) 富山マラソンの参加者を対象に側溝清掃ランニングイベントを市の事業として行っては。 4 農業支援について (1) 今後、小規模農業者を本市としてどのように支えていくのか。また、具体的な取組は。	

通 告 事 項	備 考
(2) 農業の担い手不足解消と地域活性化の新たなアプローチとして、スポーツのように農作業をしながら食育について考える「アグリスポーツ」を参考に取り組んでは。 5 第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について ・ 次期計画に高齢者介護施設の適切な配置や増設の予定を示す整備計画を盛り込み、重点的に取り組んでは。	

議席番号	氏 名	所 属
18	酒井 善広	同志会

通 告 事 項	備 考
1 人口動態に対する認識について 本市における総人口の推移を踏まえ、人口動態・人口構成の特徴と課題をどのように認識しているのか。また、課題解決に向けた考え方は。 2 教育環境の充実と地域連携について (1) 市内小中学校の再編統合の現状は。また、児童・生徒数の推移を踏まえ、令和2年に策定した「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」を更新しては。 (2) 持続可能な教育環境の構築に向け、学校・地域・保護者との連携をどのように進めるのか。 3 今年度のサマーレビューでは、今後10年の公共施設整備への財政出動をどのように整理したのか。 4 市民生活を支える仕組みについて (1) 高岡市民病院における病床数の適正化、政策的医療の確保、業務効率化など経営改善をどのように進めるのか。 (2) 人口減少、少子高齢化が及ぼす影響を踏まえ、今後どのような点を重視して高齢者福祉の取組を進めるのか。 (3) 市民にやさしい公共交通のあり方検討事業の進捗と今後の展開は。 5 行政運営と外部知見の活用について (1) 行政コストの削減や市民サービスの充実につながる行政のデジタル化をどのように進めていくのか。 (2) 市政特別アドバイザー及び政策アドバイザーの設置による具体的な成果と今後の方針は。	

議席番号	氏 名	所 属
10	林 貴文	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 本市の浸水対策について (1) 繰り返される伏木地区の浸水被害の受け止めは。 (2) 近年頻発する浸水被害を踏まえ、これまで以上の浸水対策を実施するための調査・検討をすべきと考えるが、見解は。 (3) 雨水幹線・樋門・調整池・ポンプを浸水被害軽減のため総合的に検討し、抜本的な浸水対策を構築すべきと考えるが、見解は。 2 太田・雨晴地区の安全・安心と持続可能な地域づくりについて (1) 道の駅雨晴周辺の駐車場不足や交通渋滞解消のための新たな駐車場の確保を含む抜本的な交通対策が必要と考えるが、見解は。 (2) 今回の大雨によるのり面崩壊や農業用排水路の増水などの被害について、市ができる対策を速やかに講じるとともに、国や県など関係機関にも協力を求め、一日も早い復旧に取り組むべきと考えるが、見解は。 (3) 雨晴駅に関する新たな事業において、地域の声を反映し、駅利用者の利便性向上を通じて鉄道利用の促進を図るなど、雨晴駅を核とした地域活性化を進めるべきと考えるが、見解は。 3 古府小学校跡地における武道機能の整備について (1) 7月に行われた特別委員会において、令和 12 年度の供用開始を目指し、具体的な取組を進めていくとの報告があったが、改修に係る財政支援等に関する県への要望状況は。 (2) 日常の活動環境の確保として、市内中学校の武道場を学校開放として活用していくとあったが、開放についての学校との調整状況は。 (3) 施設改修及び中学校武道場の開放について、今後の進め方及びスケジュールは。 4 本市の多文化共生の取組について	

通 告 事 項	備 考
(1) 令和８年度に計画期間の最終年度を迎える第３次高岡市多文化共生プランについて、これまでの取組の成果と課題をどのように検証しているのか。また、外国籍市民を取り巻く環境や地域社会の変化をどのように認識しているのか。 (2) 外国人との共生社会に関する国の政策や外国人材受入制度が転換期を迎える中、国の今後の方針をどのように捉え、次期高岡市多文化共生プランの策定時期及び内容に反映していくのか。 (3) 外国人児童生徒支援室「OTORI」のこれまでの取組をどのように評価し、在籍校と連携した継続的な支援を今後どのように進めていくのか。 ５ 本市の持続可能な水泳教育の在り方について (1) 外部プールを活用した水泳授業について、昨年度の実証実験及び今年度の取組から、児童の泳力向上や安全性、専門指導員による指導効果、授業時間の確保、教員の負担軽減等について、成果と課題は。 (2) 外部プールの活用を進める一方で、市内では水泳指導の受皿となり得る民間施設の閉鎖が続いているが、現在の外部施設の受入能力を踏まえ、学校プールから外部プールへの移行をどこまで進めることが可能と見込んでいるのか、見解は。 (3) 学校プールの今後の新設・更新が見込まれない中、民間施設を取り巻く環境の変化も踏まえ、10年先においても水泳教育に必要な環境を確保するため、学校プール、公共プール、民間プールの役割を整理し、本市の水泳教育環境の将来像を示すべきと考えるが、見解は。	

議席番号	氏 名	所 属
5	植野 佳奈	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 本市の基金運用と財政について (1) 本市の基金残高の推移及び今後の取り崩しの見通しをどのように捉えているのか。また、今後の大型事業や災害など予期せぬ財政需要も踏まえ、どの程度の基金残高を確保しておく必要があると考えるのか。 (2) 基金運用に当たり、安全性、流動性及び収益性をどのように考え、現在どのような方法で運用しているのか。 (3) 金利環境の変化や今後の資金需要を踏まえ、基金の運用方法を今後どのように検討していくのか。 (4) 基金の状況を踏まえ、本市の財政状況を市民にどのように説明するのか。 2 法人市民税法人税割の超過課税について (1) 令和6年度には超過課税によって約4億1,700万円の税収入があったが、それを支える法人に対する本市の認識は。 (2) 企業誘致、企業支援、起業支援を進めると同時に、法人には標準を超える税負担を求めることについて、本市の状況を踏まえてどのように考えるのか。 (3) 超過課税の趣旨について、現在どのように周知しているのか。また、法人や市民により分かりやすく説明しては。 3 収納率から見える、徴税の仕事について (1) 合併以降の本市の収納率の推移と、その向上につながった取組は。また、滞納整理にかかる職員のノウハウをどのように継承しているのか。 (2) 収納率という数字をどのような指標として捉えているのか。また、徴収行政において重視していることは。	

議席番号	氏 名	所 属
1	八田 一弥	高岡忍者会

通 告 事 項	備 考
1 情報発信のあり方について (1) 令和7年度の国の総合経済対策に係る本市の取組について、市民に対してどのように発信したのか。 (2) デジタルに不慣れな方が、ホームページやLINEなどで発信される市の情報を取得できるようにするための取組は。 2 市民サービスの利便性の向上のため、行政手続などのデジタル化を一層推進しては。 3 道の駅万葉の里高岡について (1) 防災道の駅に選定されているが、その役割は。また、備蓄物資や資機材の配備状況は。 (2) 日中は駐車場が空いてないこともあるが、大規模災害の際は自衛隊や災害復旧の特殊車両の利用が想定されるため、駐車場の拡張に取り組んでは。 (3) 「ひみ番屋街」や「KOKOくろべ」などの事例を参考に道の駅の魅力向上に取り組んでは。 (4) 高岡の玄関口として発展させるため、周辺の市街化区域の拡大に向けて取り組んでは。	

議席番号	氏 名	所 属
22	本田 利麻	同志会

通 告 事 項	備 考
1 本市の地域交通施策について (1) 城端線・氷見線の乗降客数の多い駅にパークアンドライドなど駅周辺の環境整備が必要と考えるが、本市の考えは。 (2) 各地域の市民協働型地域交通システムの連携について ① 各地域間を乗り継げるようにすることで、利便性の向上を図っては。 ② 乗り継ぎ実施の可能性は。また、実施に当たっての運行形態や運賃形態以外の課題は。 (3) 市民協働型地域交通システム「ノッカルといで」の実証運行について ① 開始に向け準備が進められているが、その内容は。 ② 交通事業における運転手不足が大きな課題となっている中、とやま生活協同組合から具体的にどのような協力が得られるのか。 2 5歳児健診の実施について (1) 5歳児健診の目的と実施方法は。 (2) 5歳児健診後に医療を必要とする子どもの受け皿の確保が必要と考えるが、見解は。 (3) 健診結果を小学校生活へのスムーズな移行につなげるため、関係機関がどのように連携して進めていくのか。 3 企業誘致と産業団地造成について (1) 企業誘致戦略アドバイザー起用後、どのような戦略で誘致活動に取り組んできたのか。 (2) 県に対して市街化調整区域から市街化区域への編入時期の前倒しを打診してはと考えるが、見解は。	

通 告 事 項	備 考
(3) 代表質問の答弁で市長は稼ぐことの大切さを力強く語っていたが、企業誘致と産業団地造成に対する本市の意気込みは。	

議席番号	氏 名	所 属
19	石須 大雄	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
1 8月の大雨について (1) 8月27日の避難所の閉鎖時期について問題はなかったのか。 (2) 浸水被害について 令和6年能登半島地震との関連は。 (3) 内水被害に対する今後のハード面での対策は。 (4) 一刻も早く震災からの復旧を進めることが災害に対する市民の不安の払拭につながると思うが、見解は。 2 特定利用港湾について (1) どういったものなのか。 (2) 選定されるとどのようなメリットがあるのか。 (3) 本市の考えは。	

議席番号	氏 名	所 属
13	中川加津代	Kirari-きらりー

通 告 事 項	備 考
1 超高齢社会における市政運営と財政の持続可能性について (1) 「市民いちばん」の視点に立った市政運営と「まちかどトーク」の見える化について ① 本市の「市民いちばん」の視点に立った市政運営とは。 ② 「まちかどトーク」で寄せられた市民からの意見や要望内容をすべて公表し、対応の進捗状況が見える化することで、市民との信頼関係がより強固になると考えるが、見解は。 (2) 未来のニーズへの対応と消費税率引き下げに伴う本市財政への影響について ① 飲食料品に係る消費税率の引き下げに伴う、本市の地方消費税交付金等の減収の見込み額は。 ② 消費税率引き下げに伴う地方消費税交付金等の減少により、複雑化する行政ニーズはもとより本市の災害復興、教育・医療などの重要課題への波及や、市民サービスの低下が懸念されるが、どのような優先度をもって財政運営していくのか。 (3) 令和9年度予算編成に向けた財源確保の見通しについて ・ 高齢化に伴い、社会保障関係経費の財政負担が大きくなる中、令和9年度予算編成に向けた財源確保の見通しは。 2 2040年を見据えた高齢者支援と環境認識について (1) 医療や介護サービスの需要がピークを迎える「2040年」を見据え、本市の高齢者福祉施策及び介護保険事業について現在の取組状況と今後の方針は。 (2) 医療・介護分野に留まらず、高齢者の孤立防止、生活支援、就業支援など、本市の高齢者を取り巻く環境と多岐にわたる課題に対し、現状をどのように認識し、総合的な支援に繋げているのか。 3 認知症対策の充実と地域密着型介護の推進について	

通 告 事 項	備 考
(1) 認知症の人の数の現状と認知症疾患医療センターの実績について ① 本市の認知症の人の数の推移と予測は。 ② 高岡市民病院の認知症疾患医療センターが果たす役割及び過去5年間の相談実績は。 (2) 「たかおか認知症個人賠償責任保険事業」について ① 同事業の目的と内容は。また、現在の登録者数は。 ② 同事業をどのように周知しているのか。 (3) 介護サービスの需給バランスとグループホームの充実について ① 本市の地域密着型サービスは、現在の需要に対して充足しているのか。 ② 「老老介護」や「認認介護」による家族の身体的・精神的負担を軽減するため、地域密着型の認知症高齢者向けグループホームをさらに充実させてはと考えるが、今後の方針は。 (4) 安心して暮らせるこれからのまちづくりについて 認知症があっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいという市民の願いに応えるため、今後どのように取り組んでいくのか。	